



CHIBABANK

中国レポート

2018年12月号

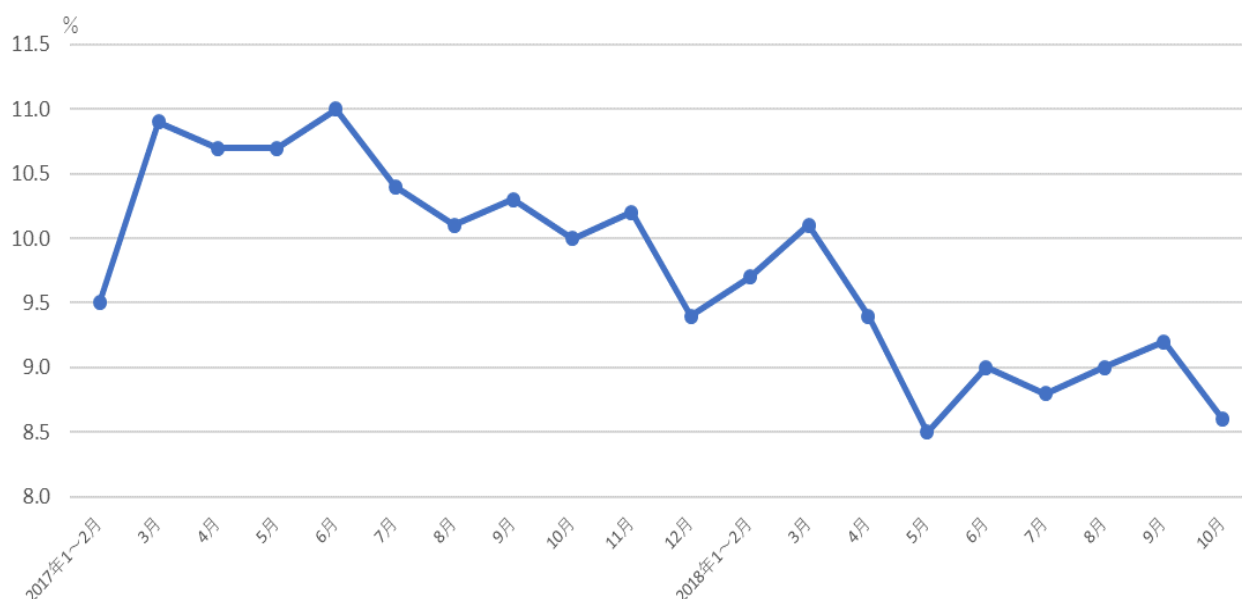
中国の経済動向について
2018年の金融政策について

千葉銀行上海駐在員事務所

○中国の経済動向について

11月14日、中国国家统计局は、10月の小売売上高が前年同月比8.6%増加したと発表しました。伸び率は9月の同9.2%を下回り、5か月ぶりの低水準となりました。中国国家统计局は、この要因について、11月11日の「独身の日」のインターネット通販セールを前に、買い控えが広がったことなどが背景にあると述べました。

【中国の小売売上高伸び率（前年同月比または前年同期比）】



(出所：中国国家统计局)

中国国家统计局は、10月の経済状況について、全体としては安定的に良い方向へ向かっているとの見解を示しました。米国との貿易摩擦の影響については、経済全体への影響は限定的であると指摘しています。その上で、国外については世界経済と貿易の減速や国際金融市場の不安定化、国内については中小企業や民営企業の経営難、長期にわたる構造的矛盾などの問題に触れ、今後の経済運営には引き続き警戒が必要との認識を示しています。

米中貿易摩擦による先行き不透明な状況などが今後の中国经济にどう影響していくのか、引き続き動向に注目が集まりそうです。

〇2018年の金融政策の振り返り

1. はじめに

2017年12月、中央経済工作会議が、2018年の経済政策の運営方針を決定するために開催され、2018年は「積極的な財政政策と穏健中立な金融政策を維持する」という方針が掲げられ、その金融政策の内容は「貸出などの伸びを合理的水準に保つ」との言及などもあり、金融規制の強化を示唆する内容でした。

しかし、米中貿易摩擦による景気の先行き不透明感が増していることや、貸出金利の上昇に伴う小規模零細企業を中心とした企業の資金調達が困難となっていることなどを背景に、2018年の金融政策は、徐々に緩和的スタンスへとシフトさせ、政府は小規模零細企業の資金調達環境の改善に向けた具体策を打ち出すなど、景気下支え重視へと舵を切ってきました。

そこで、今回は、中国の2018年の金融政策に関する動向や、小規模零細企業向けに実施された金融支援策などを、1年を振り返りながら、レポートいたします。

2. 2018年の中国の金融政策に関する動向について

上述の中央経済工作会議では、中国経済が「高速発展段階」から「質の高い発展段階」に入ったことが初めて明言され、施策の重点が高成長の確保から、金融リスクの防止など高成長の過程で残された様々な課題の解決に傾けられました。

具体的には、「重大リスクの防止」・「貧困の撲滅」・「汚染の防止」という3大課題の解決が推進され、「重大リスクの防止」のなかでは「金融リスクの防止」が最も重要であるとされました。「金融リスクの防止」については、金融監督制度の強化等を通じ、実体経済に対して良好な資金循環を促進する方針などが掲げられました。

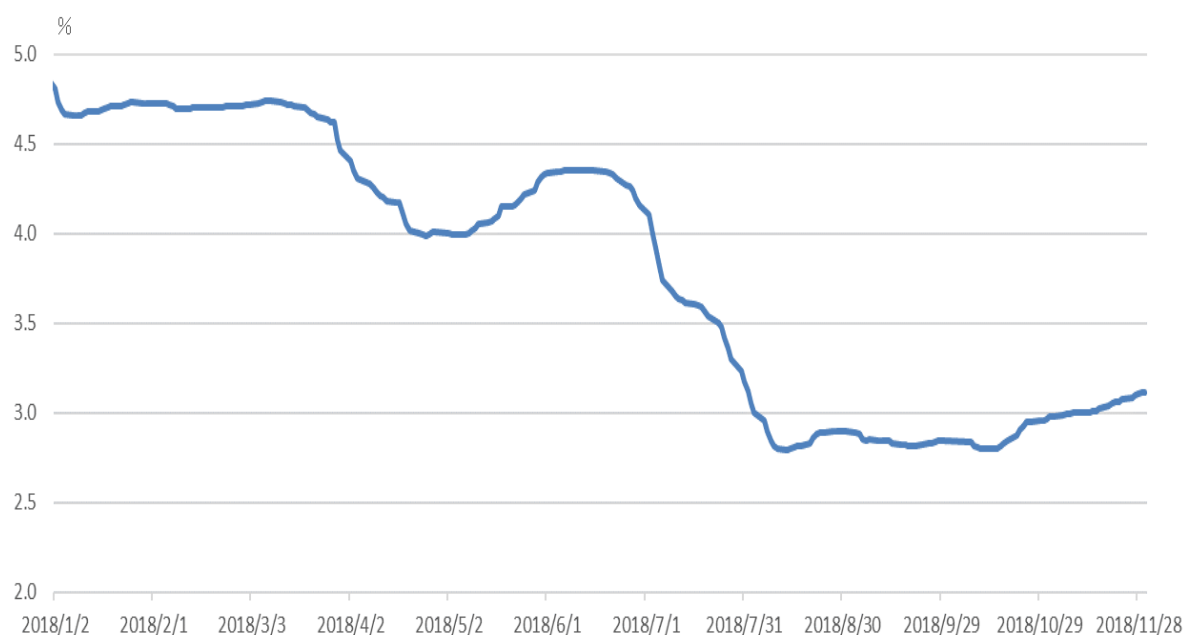
しかしながら、2018年5月11日、米中貿易摩擦等による不確実性が徐々に強まる中で中国人民銀行が公表した2018年第1四半期の「貨幣政策執行報告」では、金融政策に関し、「穏健中立」というスタンスを維持しつつも、「デレバレッジ（債務圧縮）」よりも「経済の安定」により配慮する運営に転換したことが示唆されました。

また、7月31日に開催された中国共産党中央政治局の会議では、2018年上半期の経済活動は全体的に安定し、かつ前進を遂げることができたとの見方が示された一方で、いくつかの新たな問題と課題に面しているほか、外部環境にも著しい変化がみられているとの指摘がなされ、先行き不透明な状況を解決すべく様々な政策を打ち出す必要があると強調されました。

また、同会議においては、金融政策のスタンスが、従来掲げられていた「穏健中立」から「穏健」に変更され、その後、政府により、中小企業の資金調達環境の改善策などの、景気下支えのための政策が打ち出されるようになりました。

その結果、金融政策が緩和的スタンスへとシフトが進み、代表的な短期市場金利である SHIBOR3 ヶ月物は、6 月末頃～7 月にかけて低下し、年初の 4.7%前後から足元では 3.1%前後で推移しました。

【2018 年の SHIBOR3 ヶ月物推移】



(出所：Bloomberg)

3. 小規模零細企業向けの金融支援策について

次に、小規模零細企業向けに打ち出された金融支援策について見てみます。小規模零細企業とは、中国国家统计局によれば、次のとおり定義されています。

【主な小規模零細企業の定義】

業種	項目	小規模企業	零細企業
小売業	従業員数	10人以上 50人未満	10人未満
	売上高	100万元以上 500万元未満	100万元未満
農業・林業・漁業等	売上高	50万元以上 500万元未満	50万元未満
リース業等	従業員数	10人以上 100人未満	10人未満
	売上高	100万元以上 8,000万元未満	100万元未満

(出所：中国国家统计局)

小規模零細企業向けの貸出に関し、2018年8月、李克強首相が主宰する国務院常務会議において、小規模零細企業の資金調達難を緩和するための政策支援を強化していく方針が掲げられました。その後、10月に預金準備率の引き下げが行われるなど、金融緩和による支援が行われました。

【主な小規模零細企業の金融支援策】

時期	内容
2018年6月	今年9月1日から2020年末までの間、条件を満たす零細企業や個人事業主向け融資について、利息に対する増値税免除の融資枠を、現行の1社あたり100万元（約1,600万円）から500万元（約8,000万円）に拡大する。
2018年10月	預金準備率を1%ポイント引き下げる。増加する銀行の資金を、一部は人民銀貸出の返済に充てさせることで銀行資金の安定性と流動性の質を高め、残りの部分は小規模零細企業などの融資に回るよう誘導する。
2018年11月	小規模零細企業向けの融資を拡大するために、大手企業の与信枠から一部を小規模零細企業向けに回す。銀行の貸し渋りを解消するために小規模零細企業向け融資の成績を銀行での評価や報酬にひも付けることも提唱。さらに主要商業銀行には、第4四半期（10～12月）の小規模零細企業向け新規融資の平均金利を、第1四半期（1～3月）比で1%ポイント引き下げるよう求めた。

（出所：中国人民銀行等）

各種金融支援の実施を受け、中国人民銀行は、11月10日に発表した第3四半期（7～9月）の金融政策執行報告の中で、1社当たりの与信額が500万元（約8,200万円）を下回る小規模零細企業向け貸出金が9月末時点で年初比約9,600億元（約16兆円）増加したことを明らかにしました。この額は、2017年通年の増加額の1.6倍に相当しており、中国人民銀行は、小規模零細企業への金融支援が着実に進んでいると強調していました。

4. おわりに

中国の足元の経済状況は、米中貿易摩擦による先行き不透明感に伴うマインド悪化等により自動車販売が鈍化するなど、景気減速が指摘されています。

中国国家统计局によれば、11月の製造業PMIは前月比0.2ポイント下落の50.0、非製造業PMIは同0.5ポイント下落の53.4となるなど、企業が生産拡大を抑制している様子が窺えます。

中国経済の成長には、金融政策等を通じた企業支援が必要不可欠であることから、中国の金融政策には、今後も注目が集まるものと思われます。

千葉銀行 上海駐在員事務所では、最新トピックスや投資環境など、中国に関する情報をタイムリーに提供する体制を整えております。中国に拠点をお持ちのお客様や、中国への進出を検討されているお客様は、最寄りの取引店を通じ、お気軽にご相談下さい。

以 上

- ※ ここに掲載されているデータや資料は、投資等の判断となる情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。投資等の最終決定は、ご自身のご判断でなされるようお願いいたします。また、弊行はかかる情報の正確性や妥当性については責任を負いません。
- ※ 本レポートに関するお問い合わせは、千葉銀行 市場営業部 海外支店統括グループ
(Tel:03-3270-8526、Email:kaigai_tokatsu@chibabank.co.jp) までご連絡下さい。